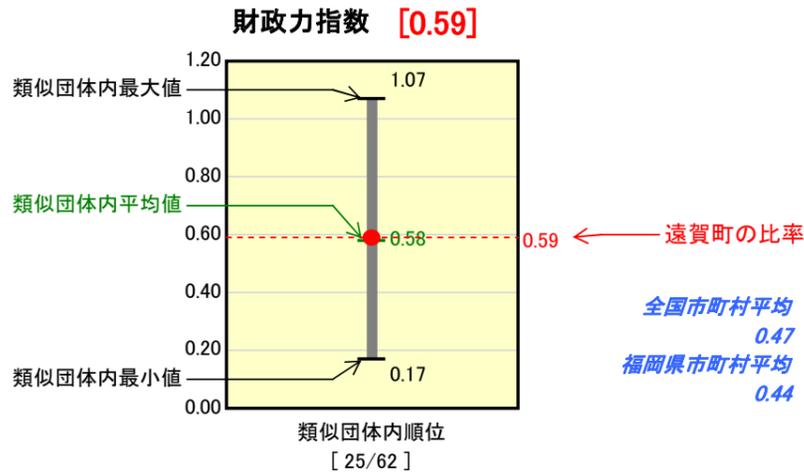


# 市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

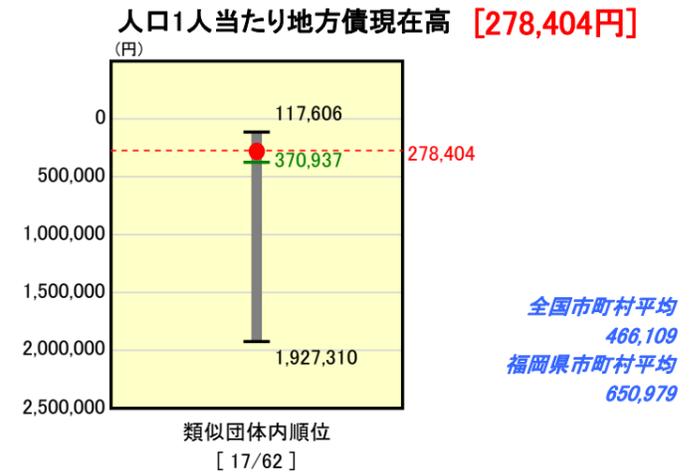
## 福岡県 遠賀町

人口	19,547 人(H17.3.31現在)
面積	22.14 km <sup>2</sup>
歳入総額	7,463,617 千円
歳出総額	7,333,596 千円
実質収支	130,021 千円

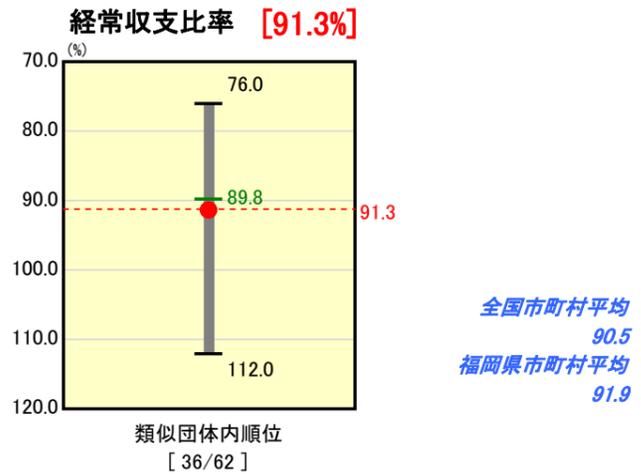
### 財政力



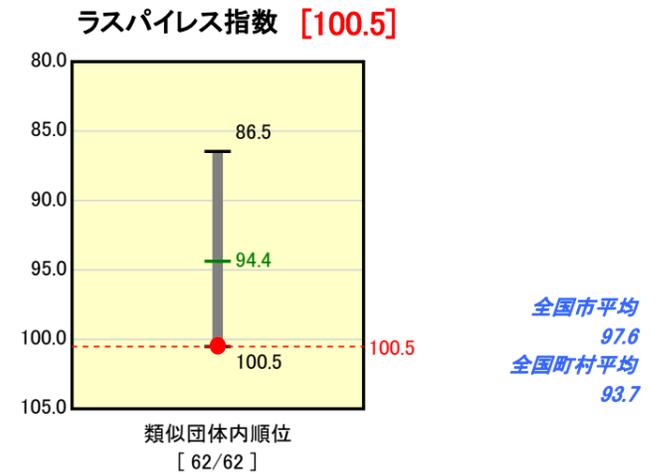
### 将来負担の健全度



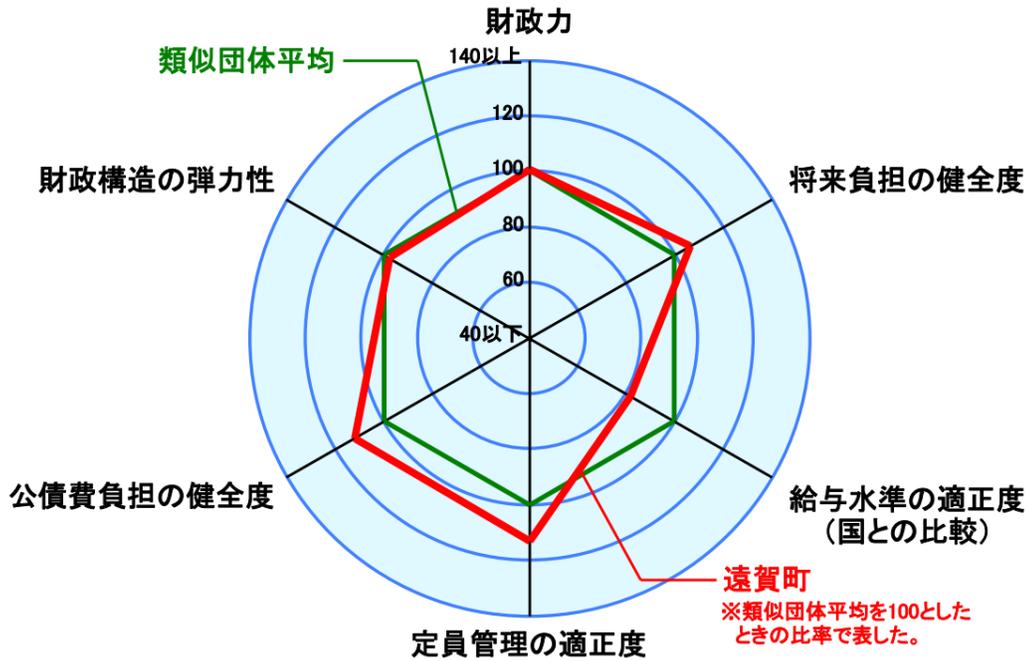
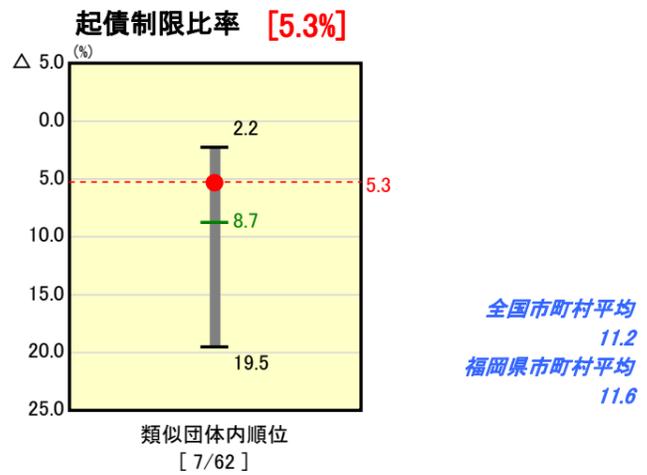
### 財政構造の弾力性



### 給与水準の適正度(国との比較)



### 公債費負担の健全度



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 分析欄

- 財政力指数  
現在は、類似団体平均と同水準(+0.1ポイント)にある。今後5年間でJR遠賀川駅南地域の開発に着手(総事業費15億円)し、後年に企業誘致・人口増加による町税の増収を目指す。
- 経常収支比率  
現在は、類似平均より若干硬直化した水準(+1.5ポイント)にある。今後は、平成17年3月に策定した自立推進計画に基づき、平成18年度の機構改革(現行の体制から1課削減)、平成18年度以降の補助金10%削減、平成19年度の収入役廃止等により経常経費を抑制し、健全化に努めていく。
- 起債制限比率  
現在は、類似平均よりも良好な状態(△3.4ポイント)にあり、引き続き現在の健全性を維持していきたい。
- 人口1人当たり地方債現在高  
現在は、類似平均よりも若干良好である。今後5年間でJR遠賀川駅南地域の開発等に伴う新発債467百万の増加のため、一次的な増加はやむを得ないが、その後の起債計画により現在の健全性を維持していきたい。
- ラスパイレス指数  
職員給与の適正化については、平成18年度から国家公務員における給与制度改革に準拠していくとともに、県や郡内をはじめとした他の地方公共団体との均衡を踏まえ、手当等の見直しを図り、ラスパイレス指数を100.0まで低下させる。
- 人口1,000人当たり職員数  
定員管理の適正化については、最少の経費で最大の効果を上げるため、退職者の欠員に対する新規採用職員の補充の抑制を基本とし、平成17年度以降5年間で約10%の職員定数の縮減を目指す。

### 定員管理の適正度

